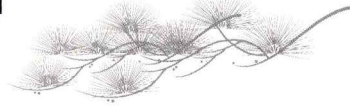


名古屋能楽堂 九月定例公演 (能楽普及公演)



能 源氏供養(金剛流)

前シテ 里女 加藤かおる
後シテ 紫式部の霊 飯富 雅介
ワキ 安居院法印 相元 正樹
ワキツレ 従僧 橋本 叡
ワキツレ 従僧 橋本 叡

後見 大野 誠
小鼓 後藤嘉津幸
大鼓 河村裕一郎

平澤由美子
熊谷真知子
伊藤 雅子
羽多野 良子
田中 春奈

狂言 雷(和泉流)

シテ 雷 鹿島 俊裕
アド 薬師 佐藤 友彦
後見 佐藤 融

地謡 米倉 宏貴
井上松次郎
大橋 則夫
井上 蒼大

舞囃子 屋島(観世流)

笛 山村 友子
小鼓 後藤嘉津幸
大鼓 河村総一郎

休憩十五分

仕舞 三輪(宝生流)

地謡 伊藤 裕貴
本田 勲
吉沢 旭
内藤 飛能

仕舞 天鼓(金春流)

地謡 鬼頭 尚久
前田 登
本田由樹
小島 芳樹
矢代 隆夫

能 鱗形(喜多流)

前シテ 女 長田 郷
後シテ 弁財天 橋本 宰
アイ 北條時政 伊藤 泰
末社之神

後見 長田 郷
平塚 昭子
大鼓 河村眞之介
大鼓 加藤 洋輝

地謡 高林 昌司
松井 俊介
松井 彬
高林 英毅
伊藤 英毅

(午後五時頃終了予定)
止むを得ず曲目、出演者等が変更になる場合がございます。

能解説「源氏供養」(げんじくよう)

安居院法印が石山寺参詣のため都を出て琵琶湖を望む辺りまで来ると、一人の女性が法印を呼び留める。女は昔石山寺に籠ったで成仏できずにいることを訴え、源氏の供養をして我が亡きあとを弔ってくれと頼む。そしてそれとなく、紫式部の亡霊であることを明かして消え失せる。法印は石山寺に着いて、懇ろに供養をしていると、夜更けになって紫式部の霊が美しい姿を現す。そして布施の代わりに報謝のため、紫の薄衣をひるがえして、法印の書いた源氏物語表白をクセ舞にして美しく舞い、人生の無常を説く。法印は、さては紫式部は石山寺の観世音の化身であり、源氏物語を書いたのは、夢のこの世を人に知らせるための方便であったことを悟る。(加藤かおる)

狂言解説「雷」(かみなり)

鎌倉での商いが芳しくない數医者(薬師)は、生活の拠点を奥州へ移そうと考へ長旅に発ちます。道中武蔵野(関東平野)に差し掛かると、それまでの天候が一変し雷鳴轟き、何と眼の前に雷様が落ちてきます。したたかに腰を打ち付け苦しむ雷に対して、薬師は脈を調べたり針療法を試すなど治療を施す。信仰の象徴ともなる(雷神・鳴神)として本来は強者であるべき雷様が、狂言では弱々しく藻掻き痛がる様が可笑しみと哀愁を誘います。雷の正体がまだ説明されぬ時代に於いて、雷の発生は正に「神鳴り」、人間に対する神々の怒りとして怖れられた事でしょう。かつて菅原道真の亡霊が怒りに満ちて雷となり都に降り注いだ時、氏の領地桑原(わばら)にだけは落雷がなかったとの言い伝えから、落雷を防ぐ呪文として『桑原・桑原』と繰り返して唱えられ、被害から逃れられるとも云われています。流儀によっては、薬師の出身地が都(京都)の設定もありです。(井上松次郎)

能解説「鱗形」(うろこがた)

家の紋が定まっていな北条四郎時政(ワキ)は、長年信仰している弁財天に祈願するため江戸島を訪れる。そこへ不思議な女性(前シテ)が現れ、この島の神であることを告げ、願いを叶えてやるから夜を待てと言ひ残してそのまま社殿の奥に消えていく。(中入)夜になると社殿の中に光が満ち溢れ、その中から弁財天(後シテ)が姿を現す。そして時政に守りの印として三鱗の旗を授け、神楽を奏し、この旗を掲げたならば、必ず神通力をもって助けけると神託を告げて社殿の奥へ再び消えていった。(長田 郷)

「イヤホン・ガイド」

能「源氏供養」
日本語／大山 範子(神戸女子大学古典芸能研究センター非常勤研究員)
英語／藤江さおり(通訳ガイド)
能「鱗形」
日本語／中尾 薫(大阪大学大学院文学研究科准教授)
英語／藤江さおり(通訳ガイド)

チケット料金(税込み) *前売券発売日 令和3年7月2日(金)

Table with columns: 全指定席, 正面席A, 正面席B・中正面席・脇正面席, 一般 Adult, 学生 Student under 25 years old. Prices: 4,200円, 3,200円, 2,000円.

*学生券は25歳以下を対象とします。*未就学児のこ入場はお断りいたします。*チケットは1回につき4枚までの販売とさせていただきます。

*事業団友の会会員・障がい者手帳等をお持ちの方(付添者1名含む)は400円引きです。(学生券の割引はありません。)(名古屋能楽堂・事業団チケットガイド・事業団施設窓口のみ。各割引の併用はできません。)

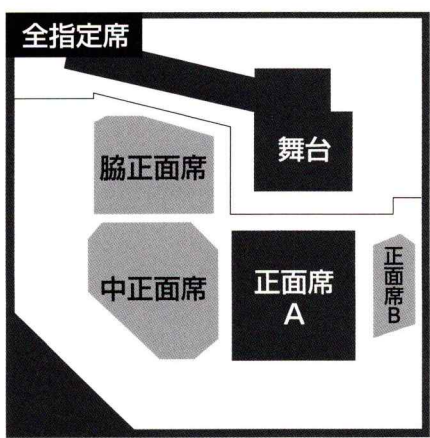
前売券取扱所 Ticket Office

名古屋能楽堂 TEL.052-231-0088
*前売券発売日当日は、お電話がつながらないことがあります。
名古屋市文化振興事業団チケットガイド TEL.052-249-9387
(平日9:00~17:00/チケット郵送可)
名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設窓口<土日祝日も営業>でもお求めいただけます。
(工事休館などがありますので、ホームページでご確認ください。)

チケットびあ TEL.0570-02-9999 (Pコード508-187)

*外国籍が証明できるパスポート等を持参された方には前売・当日とも割引致します。(名古屋能楽堂取扱いのみ)
Discount is available by showing passport or other proof of foreign nationality. (at Nagoya Noh Theater only)

お問い合わせ 名古屋能楽堂 TEL 052-231-0088 FAX 052-231-8756



【感染予防への取り組みとお願い】

- ◎感染予防のため、ご来館の際はマスクをご着用ください。マスクを着用でない方の来館はお断りします。
◎入場時の検温にご協力をお願いします。37.5度以上の場合は入場をお断りします。
◎チケットの半券にお名前と連絡先電話番号をご記入ください。ご記入いただきました個人情報は、新型コロナウイルス感染者が発生した場合など必要に応じて保健所等の公的機関へ提供されます。一定期間経過後に適切に破棄させていただきます。
◎本公演の座席は定員の半分以下の数で、お客様同士の距離を保っていただくため市松模様状に配置しております。
◎本公演は名古屋市の「文化施設における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づき実施いたします。ガイドラインに基づいた対策にご理解・ご協力をお願いいたします。

公演についての最新の情報は名古屋能楽堂ホームページをご覧ください。

https://www.bunka758.or.jp/scd24_top.html

